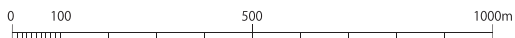
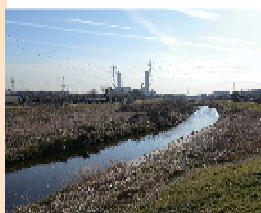


大和田カミ遺跡発掘現場



千体地藏堂
本尊の千体地藏尊は古くから33年に一度しか、御開帳されない秘仏。鎌倉時代に將軍源頼家が奉納したという千体の地藏がまつられています。

大和田宿
かつては川越街道にその名を知られた大和田宿。江戸と川越の往来に宿場町として大変栄えたところですが、明治時代には月に6回も米市がたちまちました。



普光明寺
福壽山普光明寺は大同元年（八〇六）の創建といわれる真言宗の古刹。鎌倉時代には既に浄土三部經の写經が行われており、歴史の重みと文化の香りを今に伝えます。



鎌倉道
「いざ鎌倉」への歴史の道。奥州や東国各地と鎌倉をつなぐ主要な道として、人馬に踏み固められた中世の道が大和田に伝わります。



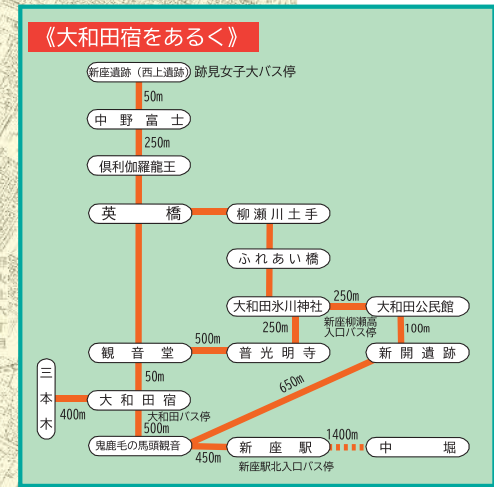
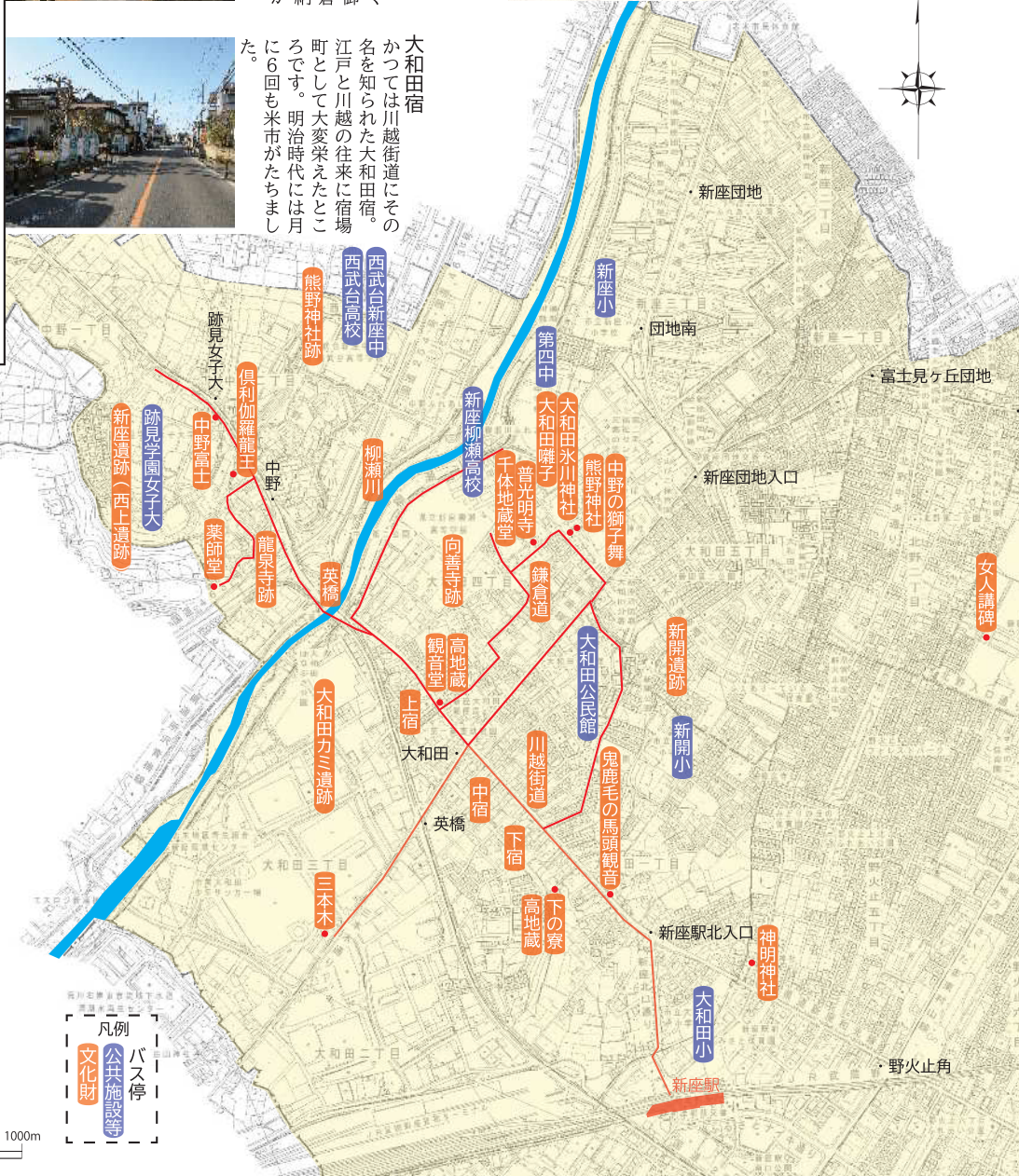
大和田氷川神社
氷川神社の縁起によると延暦21年（八〇二）の創建といわれる古い神社。大和田一帯の鎮守であり、7月末の夏祭りには「はだか神輿」が担ぎ出されて大変にぎわいます。



熊野神社
古くは中野の鎮守。明治時代に大和田の氷川神社に移されました。京都、熊野神社からの分社といわれ、8月末の祭礼には獅子舞が奉納されます（休止中）。



鬼鹿毛
一度は倒れた名馬「鬼鹿毛」が亡霊となって走り続ける鬼鹿毛の伝説。村人は、この鬼鹿毛の霊を弔うために石造の馬頭観音像を街道脇に建てました。



凡例
バス停
文化財
公民施設等